



ぼらんていあ通信

11月号
通巻 No. 516

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2024年11月26日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info>



相模原市社会福祉協議会

令和6年度社会福祉活動功労者について

佐藤邦子さんが表彰されました

市制施行70周年記念第55回相模原市社会福祉大会「市民みんないっしょの日」が11月20日(土)あじさい会館にて開かれ、ボランティア協会からは佐藤邦子さんが「事務局運営」に尽力、地域福祉の推進に貢献したのことで表彰されました。穏やかな笑顔で複雑な事務局の仕事を切り回していらっしゃる佐藤さん。1丁に強く事務局のハンディキャップのシステムを構築してくださるなど事務局にはなくてはならない存在です。この機会にインタビューをさせていただきました。

***ボラ協に入られたきっかけはなんでしたか？**

8年ほど前に趣味のゴルフで顔見知りになった篠島紀子さんに事務局で活動してみないかと誘われたことです。



いつも笑顔の佐藤さん



***仕事上、大変なところ良かったところは？**

事務局の仕事は多方面に渡って細かい上、不定期なものも多く、もたれなく処理するのは神経を使います。その日やらなくてはならないことがあるのは自分自身「プラスになっとうんざり」ですね。

そんな大変な仕事でもお会いでき、お話できるのが楽しいです。

***これから続けたいかどうですか？**

「ゴルフを月1回の回ほどやっって健康を保っています。地球温暖化など環境が心配ですが、最後まで健康で自立したいと思っています。

佐藤さんのご健康とご活躍を心からお祈りいたします。

今年度は10日に市の社会福祉功労者として(相模原市)の羽田彌生さん(相模原市)の堀一恵さん(民生委員)、清水二郎さん(きき亭横山「フレイル会」)が他団体での活動で表彰されています。(杉崎)



ご連絡

会員の皆さまへ

いつも「ぼらんていあ通信」をお読みいただきありがとうございます。時々感想などをお寄せいただけますと広報委員の活動の励みになりますのでよろしくお願いいたします。

皆さまもご存じのように郵便料金もとうとう値上がりしてしまいました。そこで、郵送ではなくメールで受け取ってもいいよとおっしゃる方は、お手数ですが事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

メールでは、ぼらんていあ通信をPDFファイルにしてお送りしています。たいいのスマホでもお読みいただけますのでよろしくお願いいたします。

*連絡先：ボランティア協会事務局

TEL/FAX: 042-759-7982

Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp

広報委員一同



特別企画

相模原市社会福祉協議会の

井上さんと片山さんのお二人に

CSWについて伺いました



9月20日(金)午後1時30分より、お仕事中の相模原市社会福祉協議会 井上直登さんと片山駿さんにお話しお時間をいただきCSWについてお話を伺いました。

CSWとは「コミュニティソーシャルワーカー」のこと。はじめてお話しするのはおもしろい仕事をしていくのが楽しかった。

CSWは市社協の職員さんで、市内全22地区に1人ずつ担当が配置されています。

お仕事の内容を簡単に言うと、困りごとを抱えている方に対し、課題を一緒に整理しながら適切な福祉サービスにつなげるということです。もし、既存の制度だけでは対応困難な場合は、地域の中でできることを住民の皆さんと考える場を作ります。病気や障がい、介護や引越しも、生活困難等困りごとを抱えている個人に寄り添い、必要な支援につながる「個別支援」として把握した困



井上さん(右)と片山さん

りごとを抱えている個人に寄り添い、必要な支援につながる「個別支援」として把握した困

★個別支援事例

障がいのあるお母さんの送迎を希望。母子家庭で母親にも障がいがあり、ひとりでは難しいと相談が入りました。そこで、CSWと市・地区のボランティアセンターが連携して、何人かのボランティアを結成して対応する取り組みになりました。地域の力によってこのご家庭の生活を支えることができました。

★地域支援事例

高齢者が買い物難民にならぬようCSWと相談が



光が丘 買い物お助け隊 お太助カー

ありました。地域の皆さんと検討し、「買い物お太助カー」の運行(自力で外出が難しい人への移動支援、買い物を通して高齢者のコミュニティづくり)を実施しました。住み慣れた町で長く生活できるような仕組み作りができました。

★地区の活動事例

光が丘地区はボランティア活動が盛んで、元PTA役員を中心に結成された「お太助支援団」というグループがあり、子ども食堂、大の散歩を兼ねた地域の見守り(わいわんパトロール)、お祭りなどを行っています。子ども地域が広がるよう希望が薄くなった社会において、意味の大きな活動です。

CSWの仕事は多岐にわたります。その都度相談者と一緒に寄り添い、困りごとを解決できるような取り組みを考えていきます。生活保護や障害者手帳の申請など、行政の手続きや書類の書き方などのサポートを行うこともありますが、井上さんのような細かな対応や心づかいに感謝します。

困りごとがあれば何事も相談できるという位置付けです。ありがとうございます。ありがとうございました。

最後にこれだけは伝えたいことがありますか?の問いに少し考えて「相模原市社会福祉協議会では新しい『地域福祉活動計画』を策定しました。この計画は地域の皆さんと一緒に地域活動を推進していくうえでの指針のようなものです。その中でCSWについても書かれています。私たちが特に大切にしたい



『縁の下の力持ち』です。地域の皆さんと一緒に地域を盛り上げる支援に関わってほしい。何が必要かを一緒に考える、そのような人と人とのつながりを大切にしたい。基本目標として、見守り、支えあい、誰もが生きがいを持って活躍できる『縁の下の力持ち』『安心できる』『縁の下の力持ち』で繋がりを輪を作りたいことを目標としているので、ボランティア協会の皆さんにも協力をお願いします」とのことでした。

また、良かったことを教えてくださるという問いには「手探りの毎日です。多い仕事です。ひとつ相談が落ち着くと『片山さんに相談してよかった』と喜びました。民生委員の方と一緒に動き、住民の方のほっとした表情を前に喜びを分かち合えたときは本当に嬉しかったです。『ありがとう』の言葉でもるゝ気が溢れてきます」と笑顔で答えてくださいました。

今までのCSWの活動は全く知りませんでした。CSWの歴史や目的、私自身もCSWの活動に物難民や、細かい手続きなどは分からない年齢です。CSWの地域包括支援センターに同じ話を聞いてもらおうと思いましたが、大変お忙しい中お時間を取っていただき本当にありがとうございます。

(恒藤・石間)



12月の記念日は？

小倉義男

12月9日、マウスの誕生日です。
1968年12月9日に「ITの父」ダグラス・エンゲルバート氏によりマウスハイパーテキストなど、パソコンの歴史の出発点ともなるデモンストレーションが行われたそうです。中でもマウスはそれまで専門家しか操作できなかったコンピュータを誰もが操作できるようにする画期的なもので、その後のIT文化の基盤ともなっていることから、そのデモが行われた日をマウスの誕生日とした。

「IT25・50」シンポジウム実行委員会が制定。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

小倉画



クイズに挑戦

はて、このマークは？

- ①  STマーク
- ②  グリーンマーク
- ③ 

お知らせ

明日のボランティア協会を作るー

2年に一度のボランティア協会役員改選の時期となりました。

日ごろあなたが実現したいと考えている企画を協会の事業として企画立案する絶好の機会です。明日のボランティア協会を作るために、あなたの立候補をお待ちしています。

立候補の詳しい手続きについては事務局にてご案内いたします。遠慮なくお問い合わせ、ご相談ください。

立候補の資格

* 相模原ボランティア協会の会員であること。ただし立候補の時点で入会、会員登録となつた場合も有効。

* 他薦の場合は、3名以上のボランティア協会会員の推薦が必要。ただし推薦人は他の候補者の推薦人を兼ねることはできません。

立候補受付期間

12月2日(月)～12月20日(金) 直接事務局持参か郵送で受け付けます。

投票期間

2月1日(土)～2月28日(金) 直接事務局の投票箱に投票券をのこす(郵送)28日消印有効)

※投票用紙および理事候補の紹介は、ぼらんていあ通信1月号にて同封して送付します。

開票及び結果報告

令和6年3月「ぼらんていあ通信」月号「紙上」にて報告

承認

令和6年5月通常総会にて承認

相模原市議会議員選挙委員会より



理事會報告

11月9日(土) 理事會(理事の各出席)

(1) 報告・連絡事項

◆令和7年度のボランティアセンター開設時間変更について市社協阿部福祉推進課長より説明があった。

◆委員報告

◆広報委員会

◆ぼら通部

ぼら通発送作業に若サボから7名の参加があった。

◆情報部

Facebook「ぼら通」10月13日車入替え式をアップ。

◆HCC委員会

13号車についての操作・装備の確認・検討。靴をあげさい会館受付に預けた際の段取りの確認。

◆事務局委員会

HCC新規利用者について検討。

◆講座検討委員会

11月講座申し込み状況の報告。

◆傾聴委員会

新規活動調整中1件の報告。

◆映像企画実行委員会

「こどもに歩んなかまたち」新シリーズの報告。

(2) 審議事項

理事改選のスケジュール及び新任理事の擁立方針について検討。

ボランティア協会会費について。次月以降継続審議となる。

次回理事會12月14日(土) 11時より



相模原ボランティア協会 12月の予定

| 日 | 時間 | 内容 |
|-------|--------|------------------|
| 4(水) | 13:00~ | 広報委員会・ぼら通部会 |
| 11(水) | 15:00~ | 映像企画実行委員会 |
| 12(木) | 18:30~ | ほかられ実行委員会 |
| 14(土) | 10:00~ | 協会の在り方検討会議 |
| | 11:00~ | 定例理事会 |
| 19(木) | 14:00~ | 傾聴委員会 |
| 21(土) | 10:00~ | 役員選出管理委員会 |
| | 13:00~ | ハンディキャブ・事務局合同委員会 |
| 23(月) | 10:30~ | ぼら通12月号印刷 |
| | 13:00~ | ぼら通12月号発行 |

※事務局年末年始の休み 12月28日(土)~1月3日(金)
(28日はあじさい会館休館日で中央ボランティアセンターが休業となります。)

クイズの答え

ST

①はSTマーク

安全に遊ぶおもちゃを選ぶための目安になる。STは「Safety toy」の頭文字で、一般社団法人日本玩具協会が定めた基準に合格している。先端が鋭くとがっていないか、有害な化学物質が使われていないかなど、第三者検査機関が安全性を確認しているそうです。



②はグリーンマーク

紙のリサイクルを促すため、公益財団法人古紙再生促進センターが策定しました。原則、原料の40%以上に古紙を利用した製品に表示されるが、トイレットペーパー、ちり紙については100%、新聞用紙、コピー用紙については50%以上となります。



③は津波注意

地震が発生したとき、この場所は津波の危険がありますよということを知らせる標識です。地震が起きたらただちに内陸部や高台に避難しましょう!

ちょっとつぶやいて

つぶやきコーナー

おのあきお 小野明雄



柿はどんな柿もおいしくですね。子どもの頃、母の実家(岐阜)から柿が送られてくるのですが、到着する頃はすっかり柔らかくなっていました。この柔らかくなった柿をうちのワンちゃんが大好物で、おいしそうに食べていました。

今の県営富十見団地に県営第7住宅ができた時、県が各家庭の庭に柿と桃の苗を植えました。桃は皆さんうまく育てられなかったのですが、秋になると27本の種類の違った柿が住宅を彩ったのを思い出します。

ちなみに我が家は「富有柿」でした。懐かしいです。

ボランティア活動グループ訪問記

おまじま



「普通ついなじり」

精神保健ボランティアグループ

『ひびき』を訪ねて思ったこと

ほかほかふれあいフェスタの余韻も冷めやらない10月23日(水)、相模大野駅から続くホーン相模大野の地域福祉施設で活動している『ミチザ』におじゃましました。

この『ミチザ』は、精神保健ボランティアグループ『ひびき』の活動の中心で、発達障がいを持つ人たちの情報交換や心を休める場として2008年から活動を続けています。それ以外にもけやき体育館での食事を中心とした『けやきの集い食事会』や、2006年から続くボランティアスナック『ひまわりの』の場『おいらた』、橋本のインライフがみはりの集い『ラバンダー』、ギオンアリーナを拠点とした『フィットサルあしたはFC』など、けやきまな『ミニミニテ』を運営しながら、心を病む人たちの隣人・友人として交流を深めているのが『ひびき』です。



ひびき代表の根岸さん

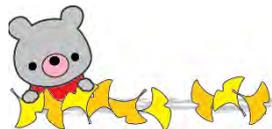
『ひびき』のメンバーは、ほかほかふれあいフェスタで人気の焼きそばブースを出している団体なので、今回けやきが美味し焼きそばの作り方が聞けるのではないかと期待していたのですが、そんな話題を出す隙もなく話が始まりました。

集まった幅広い年齢層の名から、この1カ月であった事、印象に残ったことなどを順番に話していきました。話題は、体調やイベント、料理実習の感想やバラエティーに富んでいて、個性を感じる表現なども印象的でした。

その後、リーダーの根岸昭臣さんが持参したビデオを鑑賞しましたが、お笑い芸人の鳥居みゆきさんのお話を中心とした番組でした。見終わったあと、「一言一句の感想を言い合ったのですが、筆者が感じたのは「普通って何?」という鳥居さんの言葉でした。」例えの手を洗っている行為は「普通だが、それを一日中繰り返していればそれは異常だと言われる。普通と異常の境は目には見えない」といって、けやきまでの生きづらさを語る鳥居さんの言葉が新鮮に感じられました。一緒に見ていた皆さんは、「普通」の経験談だったというのです。



- ① 心病む人たちの正しい理解を
 - ② 地域に支援の輪を広げる
 - ③ ボランティア自身の自己成長を図る
- この3つの柱を掲げて活動を始めました。人を相手とする活動は決して簡単なもので



はないと思いますが、「これまで長く続けられた背景には、いろいろな苦労もあったのでは」と水を向ける。根岸さんは「慣性です」と一言。その肩の力が抜けた姿に、「こちらの気負いも消えてしまってます」。

会費は障がいを持つ当事者も含めて約40名。10年以上続けて参加している人が多く、当事者の居場所として居心地のよい場になっていくことを物語っているようです。けやき会館での食事会などは、人数分のお弁当をボランティアさんが独りで作っていたという話も聞くと、決して慣性などはなく、多くの会員さんの熱意が支えられていることが伝わってきました。

参加者の中には、ラバンダー・すずらん・ミチザなど、複数の集まりに出席する人も少なからずいらっしゃると伺いました。中には厚木からわざわざ来てくれる人も少なくない。そのように遠くからでも気軽に来てくれる人がいて、喜んでいる姿を見ると、反応を感じられるのが、継続の力になってくる。根岸さんも少しずつ心のつちを丁寧と話していただくと、気がつくかなりの時間を取材に付きあってくれていたのです。恐縮しながら辞せてきました。

参加者の皆さんがどういふケアのニーズを持っているのか、普通ついなじりという命題が、今も頭の隅にうっすらと残ります。この命題を掲げながら、次回ひびきの焼きそばを食べる機会が、やがて美味しくて、優しい味がするのだなと思うのが、この原稿を書き終えました。(右関・小川)



ボランティアさん募集!

おはようございます!!

○発達障がいのある小学生の登校支援

内容：小山小学校の支援級に通う男児の登校(徒歩約30分)の付き添い
日時：月～金曜日のうち、都合の良い曜日 午前7時40分～8時10分
(週または隔週に1回程度/活動期間は令和7年3月末まで)

要件：徒歩での活動に支障がない方
※その他詳細につきましては、お問合せください。

○福祉施設でボランティア活動してみませんか?

特別養護老人ホームや福祉事業所、保育園等、福祉施設でのボランティア募集の案内をボランティアセンターの窓口で行っています。活動に興味のある方は、ボランティアセンターにお問合せください。



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《今月のイラスト》
…お彼岸に「墓参り」
行けなかつたけど、
いしも思ってるかいね

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<10月の寄付者>

27名および1団体の方からご寄付をいただきました。

<10月の寄付金>

総額 140,380円でした。



寄付者は税制面での優遇措置が!!

寄付金控除制度の活用を

ボランティア協会では、来年度も、さまざまな事業を展開していくつもりですが、そのためには資金が必要ですね。

12月までに寄付をいただいた方、今年分の確定申告の間に控除できます。

詳細は、当協会にお問合せください。

*認定NPO法人

相模原ボランティア協会

電話 042・7599・7982

会員の皆様には10月31日(月)のうち、銀行の払込取扱票(手数料協会負担) ※但し、現金でお払込みの場合は別途手数料百十円がかかります。す)を同封いたしましたので、ご利用ください。よろしくお願ひいたします。

編集後記

最近の気候はおかしくですね。公園のいちじくも紅葉も青々とついで、秋らしい日があつて。

今年初めて近所の公園のいちじくに銀杏が実りました。拾って数日水につけ、表皮を腐らせてきれいに洗い、乾かしてから電子レンジでチンして薄皮をとり、銀杏ご飯を作りました。

おしごとですー! (三)